

令和3年度
京都市立嵐山東小学校

学校教育目標

育てよう 子どもの思い・思いやり

子どもたちが生きていく未来は、変化の激しい社会が予想される。子どもたちは、様々な問題を解決し前向きに生きていかなければならない。

そこで、子どもたちの「知りたい・高めたい・伝えたい」といった思いや「大切にしたい・助けたい・役に立ちたい」といった思いやりを育てる必要がある。その鍵を握るのは、「主体性：自ら学ぶ力」と「社会性：自ら律する力」の向上である。

めざす子ども像

自分の考えをもち、表現する子

<のびのび>

人を大切にする子

<にこにこ>

挑戦する子

<わくわく>

○「自分の考えをもち、表現する」

…出会った事柄や課題を自分のこととしてとらえ、表現方法を選んで伝えられる子

○「人を大切にする」

…自分のよさや友だちのよさに気づき、互いに認め合い、誰にでも優しくできる子

○「挑戦する」

…苦手なことにも自ら一步を踏み出し、目標に向かって粘り強く取り組む子

めざす教職員像

組織的に取り組み、高め合う教職員

- 教育者としての職責を自覚し、確かな専門性と指導力を身に付ける。
- 豊かな人間性と情熱をもち、子ども一人一人を大切にする。
- 広い視野をもち、目標に向かって協働する。

めざす学校像

豊かな関わり合いを通して、
共に育ち、共に伸びる 嵐山東小学校

地域の人をはじめ、様々な人と交流する体験活動等を通した「社会に開かれた教育課程」を展開することにより、「子どもたちも教職員も自らの成長を実感できる学校」を創る。



令和3年度の重点項目

学校教育目標の実現に向けて、京都市の「学校教育の重点」と本校の実態、これまでの取組の経緯を踏まえ、特色ある取組を展開する。また、中学校区を基盤に、子どもの実態や課題を踏まえて小小連携や小中連携を図り、9年間を見通した学習指導・生徒指導を推進していく。

◆主体的・対話的で深い学びを重視した授業

(教科横断的に培うべき資質・能力の育成)

ICT 教育と対面授業のハイブリット化)

◆自学自習の習慣化・充実

(自主学習・自由研究等を活用した「課題選択や学習計画」)

◆自他を大切にする態度の育成

(児童会活動等を通した自己指導力・自己有用感の向上)

◆公共の精神に基づく態度の育成

(体験活動を通した「学びと社会とのつながり」の実感)